

歴史 | 探訪

~文化財を巡る~ ④

豊岡の文化財を紹介します。皆さんの身近にある文化財を見ていきましょう。

《問合せ》文化振興課 ☎23-1160

「無形民俗文化財(民俗芸能)」

秋は、市内各所で秋祭り(秋の例大祭)が行われます。これらのほかにも、江戸時代などから始まったとされ、大切に受け継がれている民俗芸能があります。なかには、わずかな記憶をたどって保存会で復興されたものもあります。しかし、引き継がれずに途絶えて忘れ去られてしまった民俗芸能もあります。民俗芸能は、人から人へ伝え続けられてこそ成り立つ文化財なのです。

ほっけいじまんざい 法花寺万歳(県指定)法花寺

江戸末期から始まったと言われている万歳です。太夫と才若が、三味線の伴奏にあわせて滑稽な掛け合いをします。現在、「門入り」、「蚕祈禱」という演目が传承されています。全国各地にある古典的な万歳とよく似ていますが、途中に「マダラト」という囃子言葉が入るのが特徴です。新春を祝う門付け芸で、毎年1月3日にコウノトリ文化館などで披露されています。



とどろき たいこおど 轟の太鼓踊り(県指定)竹野町轟

大切に保管されていた締め太鼓に「文化3年(1806年)…」とあることから、江戸後期には踊られていました。蓮華寺の施餓鬼(盆行事)に、本堂の横に設けられた施餓鬼棚の前で供養として踊られます。白装束に身を包み、腰に付けた締め太鼓をたたきながら少し体を動かすだけで、足はほとんど移動しません。養父市や朝来市などにあるザンザカ踊りの原型などとも言われています。毎年8月14日に蓮華寺で披露されています。



だいまょうぎょうれつやうりふ 大名行列槍振り(市指定)出石町内町

江戸末期ごろ、参勤交代の行列を飾るために行われていたものを城下町の町衆が習い伝えてきたとされています。奴衣装に身を包み、先頭の御立振れの指示にあわせて、金紋先箱の足さばきや、長い槍を振りながら互いに受け渡したりする動作が見事です。江戸末期の大名行列に使われていた道具一式も、有形民俗文化財として家老屋敷に大切に保存されています。毎年11月3日出石城周辺で披露されます。



とどろき だいかくら 轟大神楽(市指定)竹野町轟

江戸後期にはすでに始まっていたとされる神楽(獅子舞)で、森神社の例大祭に披露されます。「幣の舞」「剣の舞」などがあり、太鼓と笛、鐘にあわせて、御幣や剣を持った獅子が舞を踊ります。また「遊び獅子」は、天狗とお多福とが獅子を遊ばせるように、面白しろおかしくやりとりをする芸で、これのみ、3年に1度披露されています。毎年、10月の第2日曜日に轟区を中心に披露されます。



第51回近畿・北陸・東海ブロック民俗芸能大会が、11月15日(日)に出石永楽館で開催されます。それぞれの県が大切に保存传承されてきた代表的な民俗芸能を披露する大会で、豊岡市からは「轟大神楽」が出演されます。全国各地に残されている民俗芸能を知るまたとない機会です。入場整理券を配布しますので、詳しくは、31ページをご覧ください。

【表紙写真】 10月12日、とよおかスポーツフェスティバル2009を県立但馬ドームおよび周辺で開催しました。健康ふれあい歩キングでは、親子らが参加し、神鍋山周遊コースなど約7kmを歩きました。神鍋山では、紙飛行機飛ばしや〇×クイズなどで交流を深め、秋の自然を満喫していました。

●発行/豊岡市
07961231111
市長室 FAX 2411004
●編集/政策調整部秘書広報課
FAX 2412575

〒668-8666
兵庫県豊岡市中央町2番4号
URL <http://www.city.toyooka.lg.jp>

(総合支所)
竹野 ☎4711111
出石 ☎5231111
但馬 ☎54423211001
城崎 ☎54423211001
日高 ☎54423211001